



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月9日

上場会社名 株式会社ベストブライダル 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <http://www.bestbridal.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 石原啓次 TEL 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	10,942	12.9	514	△8.3	573	△10.5	318	5.4
25年12月期第1四半期	9,687	10.5	560	62.4	640	47.6	301	260.0

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 307百万円 (△36.2%) 25年12月期第1四半期 482百万円 (174.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	6.51	5.81
25年12月期第1四半期	6.16	-

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	54,759	24,725	45.2
25年12月期	53,968	24,668	45.7

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 24,725百万円 25年12月期 24,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	1,000.00	-	5.00	-
26年12月期	-	-	-	-	-
26年12月期(予想)	-	5.00	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。当該株式分割を考慮しない場合の平成25年12月期の期末の1株当たり配当金は1,000円00銭となり、年間の1株当たり配当金は2,000円00銭となります。

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	23,160	4.0	1,600	△38.4	1,600	△40.4
通期	52,650	11.0	7,250	5.7	7,250	1.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成26年2月14日付けで公表いたしました「持株会社制への移行に伴う子会社の設立及び会社分割、並びに定款の一部変更に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は平成26年7月1日をもって持株会社制に移行する予定であります。そのため、平成26年12月期の連結業績予想の当期純利益、1株当たり当期純利益につきましては、現時点で合理的に算定することが困難であるため、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）株式会社ベストブライダル分割準備会社、除外 1社（社名）-

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	48,960,000株	25年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	131,512株	25年12月期	131,512株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	48,828,488株	25年12月期1Q	48,960,000株

（注）当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益の改善並びに雇用・所得環境の改善が見られ、また消費税増税前の駆け込み消費等もあり、景気は穏やかな回復基調で推移しております。しかしながら消費税増税後の消費マインドの減退、円安や燃料高による輸入コストの上昇、海外景気の下振れ懸念等もあり、先行き不透明な状態が続いております。

このような環境下において、当社グループはプライダル市場、並びにホテル市場における新しい価値の創造、高品質かつ魅力ある店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に常に積極的に取り組みつつ、個性化・多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,942百万円（前年同四半期比12.9%増）となりましたが、利益につきましては、営業利益514百万円（同8.3%減）、経常利益573百万円（同10.5%減）、四半期純利益318百万円（同5.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 国内婚礼事業

当第1四半期連結累計期間においては、既存店舗の施行件数は減少しましたが、楽婚・家族挙式等の施行件数が順調に推移し、売上高が増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は7,820百万円（前年同四半期比2.2%増）、セグメント利益は1,071百万円（同11.2%減）となりました。

② ホテル事業

当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度に改装工事が完了した「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」が順調に推移し、また新たに事業を譲受けました「ストリングスホテル東京インターコンチネンタル」が、売上高の増加に貢献いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は2,455百万円（前年同四半期比69.5%増）、セグメント損失は12百万円（前年同四半期は、セグメント損失167百万円）となりました。

③ 海外事業

当第1四半期連結累計期間においては、マーケット全体は穏やかな回復基調にありましたが、施行件数はほぼ横ばいで推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は665百万円（前年同四半期比13.5%増）、セグメント損失は49百万円（前年同四半期は、セグメント損失34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ791百万円増加して、54,759百万円となりました。これは主に、事業譲受等に伴う有形固定資産の増加698百万円、のれんの増加586百万円、敷金及び保証金の増加651百万円、その他の流動資産の減少1,675百万円があったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ734百万円増加して、30,034百万円となりました。これは主に、借入金及び社債の純増額1,434百万円、前受金の増加428百万円、事業譲受等に伴う資産除去債務の増加320百万円があったものの、未払法人税等が1,540百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ57百万円増加して、24,725百万円となりました。これは主に、利益剰余金の配当が244百万円、四半期純利益を318百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月14日付け決算短信にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、株式会社ベストプライダル分割準備会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、Ecpark Pte.Ltd.は連結グループ方針の見直し等により、相対的な重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,866	9,220
売掛金	476	629
有価証券	5,000	5,001
商品	3	10
原材料及び貯蔵品	373	431
その他	3,216	1,540
貸倒引当金	△41	△42
流動資産合計	17,895	16,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,342	15,903
土地	4,757	4,761
その他(純額)	1,361	1,494
有形固定資産合計	21,460	22,159
無形固定資産		
のれん	962	1,548
その他	191	186
無形固定資産合計	1,153	1,735
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,299	6,950
その他	7,103	7,070
投資その他の資産合計	13,402	14,020
固定資産合計	36,016	37,915
繰延資産	56	52
資産合計	53,968	54,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,189	2,196
短期借入金	—	860
1年内返済予定の長期借入金	2,709	2,645
1年内償還予定の社債	484	484
未払法人税等	1,786	245
前受金	968	1,397
その他	2,231	2,298
流動負債合計	10,370	10,128
固定負債		
社債	1,106	914
転換社債型新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	9,960	10,790
退職給付引当金	282	292
役員退職慰労引当金	636	642
資産除去債務	1,083	1,404
その他	861	862
固定負債合計	18,929	19,905
負債合計	29,300	30,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	23,443	23,509
自己株式	△88	△88
株主資本合計	24,461	24,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	87
繰延ヘッジ損益	46	29
為替換算調整勘定	71	81
その他の包括利益累計額合計	206	197
純資産合計	24,668	24,725
負債純資産合計	53,968	54,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	9,687	10,942
売上原価	6,757	7,606
売上総利益	2,929	3,336
販売費及び一般管理費	2,368	2,821
営業利益	560	514
営業外収益		
受取利息	16	18
受取配当金	19	27
匿名組合投資利益	57	59
デリバティブ評価益	46	—
その他	11	29
営業外収益合計	151	134
営業外費用		
支払利息	67	53
デリバティブ評価損	—	18
その他	3	3
営業外費用合計	71	75
経常利益	640	573
特別損失		
固定資産除却損	17	21
特別損失合計	17	21
税金等調整前四半期純利益	623	551
法人税等	321	235
少数株主損益調整前四半期純利益	301	316
少数株主損失(△)	—	△1
四半期純利益	301	318

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	301	316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	△1
繰延ヘッジ損益	15	△16
為替換算調整勘定	103	9
持分法適用会社に対する持分相当額	7	—
その他の包括利益合計	180	△8
四半期包括利益	482	307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482	307
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内婚礼 事業	ホテル事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,652	1,448	586	9,687	—	9,687
セグメント間の内部売上高又は振替高	69	28	0	97	△97	—
計	7,721	1,476	586	9,784	△97	9,687
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,207	△167	△34	1,004	△443	560

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△443百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△448百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内婚礼 事業	ホテル事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,820	2,455	665	10,942	—	10,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	125	32	—	158	△158	—
計	7,946	2,488	665	11,100	△158	10,942
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,071	△12	△49	1,010	△495	514

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△495百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△508百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「国内事業」に含まれていた「ホテル事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントを従来の「国内事業」及び「海外事業」の2区分から、「国内婚礼事業」、「ホテル事業」及び「海外事業」の3区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ホテル事業」セグメントにおいて、連結子会社の株式会社ベストグローバルが、ストリングスホテル東京インターコンチネンタルの運営に係る事業を譲受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては618百万円であります。

4. 補足情報

施行、受注及び販売の状況

(1) 施行実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
国内婚礼事業	2,005	2,143	9,857
ホテル事業	147	183	758
海外事業	565	585	2,932
合計	2,717	2,911	13,547

(2) 受注状況

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)		前連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)	
セグメントの名称	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)
国内婚礼事業	2,759	6,664	3,103	6,568	9,555	5,608
ホテル事業	267	526	266	531	800	448
海外事業	908	1,765	789	1,681	2,987	1,477
合計	3,934	8,955	4,158	8,780	13,342	7,533

(3) 販売実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
セグメントの名称	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
国内婚礼事業	7,652	7,820	37,392
ホテル事業	1,448	2,455	7,139
海外事業	586	665	2,894
合計	9,687	10,942	47,426

- (注) 1. 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、変更後のセグメントの区分に組み替えて作成しております。
2. 当第1四半期連結会計期間より、新たに外部提携施設での施行件数、受注件数、受注残高件数を含めることとしたため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度につきましては、変更後の数値にて作成しております。
3. セグメント間取引については、相殺消去しております。
4. 金額には、消費税等は含まれておりません。